

茨城県陶芸美術館 企画展

# ヘレンド展

—皇妃エリザベートが愛したハンガリーの名窯—

## プレス・リリース

平成29年9月23日(土・祝)～12月3日(日)



色絵金彩忍冬文透彫瓶 1890-1895  
ブダペスト国立工芸美術館

### 茨城県陶芸美術館

〒309-1611茨城県笠間市笠間2345番地(笠間芸術の森公園内)

TEL 0296-70-0011 / FAX 0296-70-0012

<http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

# 1 展覧会名 ヘレンド展 ―皇妃エリザベートが愛したハンガリーの名窯―

## 2 開催趣旨

### A：一言でいうと（108文字）

ヨーロッパの高級陶磁器として名高いヘレンドは、ハンガリーの芸術を代表する存在です。本展では、ブダペスト国立工芸美術館やハンガリー国立博物館などが所蔵するヘレンドの名品約150件により、ヘレンド芸術の全貌を紹介します。

### B：もう少しでいねいにいうと（153文字）

ヨーロッパの高級陶磁器として名高いヘレンドは、その芸術性の高さからヨーロッパの数多くの王侯貴族に愛され、ハンガリーの芸術を代表する存在となっています。本展ではブダペスト国立工芸美術館やハンガリー国立博物館などが所蔵するヘレンドの名品約150件を展示し、創立当初から現在までのヘレンド芸術の全貌を紹介します。

### C：詳細にいうと（621文字）

1826年、ハンガリーの美しい古都ブダペストから遠からぬ小さな村ヘレンドの工房で、磁器の生産が始まりました。ヘレンドは、1851年のロンドン万国博覧会で、イギリスのヴィクトリア女王からディナーセットの注文を受けたのを機に、一躍その名をヨーロッパ中に広めました。牡丹と蝶が中国風にデザインされた文様は「ヴィクトリア文様」と呼ばれ、現在まで受け継がれています。ロンドン万博以後、ヘレンドは、ドイツのマイセンやフランスのセーヴルと並ぶ高級磁器工房として発展を遂げ、世界的な陶磁器ブランドとしての地位を築いていきます。オーストリア・ハンガリー二重帝国のフランツ・ヨーゼフ皇帝一族のための「フランツ・ヨーゼフ」シリーズや、イギリスのウエールズ公への贈り物となった「ウエールズ」シリーズが誕生し、皇帝が皇妃エリザベートのために注文した中国風の「ゲデレー」シリーズは、皇妃の愛用品の一つとなりました。時流が大量生産へと向かう19世紀末、手作業で最高の陶磁器づくりを目指したヘレンドは、その芸術性の高さからヨーロッパの多くの王侯貴族に愛され、名実共にハンガリー芸術を代表する存在となり、今日に至っています。本展では、ブダペスト国立工芸美術館、ヘレンド磁器美術館、ハンガリー国立博物館などが所蔵する約150件の作品により、その時代毎に技術の粋を凝らし、華麗に変遷する様々なテーブルウェア、そして現代の斬新な表現まで、ヘレンド約190年の歴史とその魅力を紹介します。

## 3 展示構成

出品総数 約150件（ディナーセット、ティーセット等の組み物も1件としています）

第1章 ヘレンド磁器製作所の黎明期―ヴィンツェ・シュティングルの製作所

第2章-1 モール・フィッセルの時代―全盛期

第2章-2 モール・フィッセルの時代―全盛期―東アジアから得た着想

第3章-1 モール・フィッセルの息子たちの経営になるヘレンド磁器製作所

第3章-2 モール・フィッセルの息子たちの経営になるヘレンド磁器製作所―東アジアから得た着想

第4章 イエネー・ファルカシュハージ・フィッセル時代―理想的な後継者

第5章 ジュラ・グルデンの時代―ふたつの世界大戦の間のヘレンド

第6章 国有化された磁器製作所（1948-1991年）

第7章 新たな挑戦―世紀転換期のヘレンド窯

## 4 主な作品（別添作品写真キャプション）

①色絵金彩「ゲデレー」文ティーセット 1875年頃 ブダペスト国立工芸美術館

②色絵金彩「ハンガリアン・ナショナル」文皿 1896年頃

③色絵金彩「ウエールズ」文蜥蜴飾りティーセット 1874年 ブダペスト国立工芸美術館

④「トロンプ・ルイユ」花卉果実飾り皿 1887年頃

⑤色絵金彩「ヴィクトリア」文ティーセット 1850年頃 ヘレンド磁器美術館

⑥色絵金彩「バラトンフェレド風景」図コーヒーセット 1860年代 ブダペスト国立工芸美術館

⑦色絵金彩「皇帝」文コーヒーセット 1860年頃 ブダペスト国立工芸美術館

⑧色絵金彩花卉獅子飾り蓋八角壺 1890年頃

- 5 会期・会場等  
会 期：平成29年9月23日(土・祝)～12月3日(日) (63日間)  
会 場：茨城県陶芸美術館 地階企画展示室, 2階県民ギャラリー  
開館時間：午前9時30分から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)  
休 館 日：月曜日(ただし10月9日(月・祝)は開館, 翌10日(火)休館。  
11月13日(月・県民の日)は開館, 翌14日(火)も開館。)
- 6 主催・後援・協賛等  
主催：茨城県陶芸美術館, 読売新聞社, 美術館連絡協議会  
後援：ハンガリー大使館  
協賛：ライオン, 大日本印刷, 損保ジャパン日本興亜, 日本テレビ放送網  
協力：Lufthansa Cargo AG  
企画協力：アートインプレッション
- 7 観覧料  
一般 820(670)円／高大生 620(510)円／小中生 310(260)円  
\* ( ) 内は20名以上の団体料金。満70歳以上の方, 障害者手帳, 療育手帳をお持ちの方及び付き添いの方(ただし1人につき1人まで)は無料。土曜日は高校生以下無料。
- 8 関連行事 \*詳細はイベントチラシ, ホームページ等でご確認下さい
- 講演会「東西の器の出会い ～ヘレンド陶磁を中心に～」  
日時：平成29年9月30日(土)13:30～15:00  
会場：当館1階多目的ホール(聴講無料)  
講師：木村ふみ氏(本展テーブルコーディネーター監修者/食環境プロデューサー)  
定員：120名(先着順)
- ワークショップ「ヨーロッパ磁器絵付けに挑戦」(事前申込制)  
磁器の上絵付けの技法を使い, 愛らしい模様の磁器絵付け皿を制作するワークショップ。  
作品はワークショップ終了後, 講師の先生が焼成し, 各参加者へ直接お送りします。  
日時：平成29年10月8日(日)10:00～15:00  
会場：当館地階研修室  
講師：マリア テレサ ルーディ 横田氏  
(エコール ド マリア テレサ ヨーロッパ磁器彩画教室主宰)  
定員：15名(中学生以上対象)  
参加費等：3500円(材料代・焼成代・送付代含む)及び企画展チケット  
申込方法：電話またはFAXにて9月9日(土)9:30より申込受付
- ギャラリー・トーク  
平成29年10月14日(土)・28日(土)・11月5日(日) いずれも13:30～  
\*要企画展チケット
- 呈茶会  
日時：平成29年11月13日(月)10:30～15:00(10:00受付開始)  
会場：当館地階オープンギャラリー  
参加費等：500円(先着80名)  
主催：茨城県陶芸美術館友の会
- 9 連絡先  
茨城県陶芸美術館 〒309-1611 笠間市笠間 2345 番地(笠間芸術の森公園内)  
TEL.0296-70-0011 / FAX.0296-70-0012  
展覧会担当 学芸課長 柳田 高志  
広報担当 企画管理課 首席学芸主事 中島 淳 kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp

※プレスリリース用写真データ

広報担当の E-Mail アドレス [kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp](mailto:kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp) までご連絡いただければ、すぐにデータをお送りいたします。写真を掲載する際には“4 主な作品”に記載されている、それぞれの作品キャプションを併記してください。

